

「平成 15 年度 リズム&ジュニアスポーツ教室発表会」

御宿町 B&G 海洋センター（千葉県）

参加児童ならびに保護者の声

所狭しと体育館が観客で埋め尽くされ、たいへんに盛り上がった今回の発表会。1 年の練習の成果を発揮した子どもたちと、観客として声援を送ったお母さんたちに、感想をお聞きしました。

教室を通じて成長の過程がよく分かります

「年に 1 度の発表会では、他の学年の子どもたちの演技が見られるから楽しいけれど、普段の練習もなお楽しい」という紅葉さん。今回の発表会では縄跳びの演技が特に楽しかったそうです。

お母さんは、「年中組のときから 4 年間参加してきたので、子どもの成長の過程がとてもよく分かります。鉄棒も縄跳びも、私が教えたときはできなかったのですが、教室の先生の指導ですぐにコツをつかんでできるようになったことには驚きました。発表会だけでなく、普段の練習も保護者に公開してくれるので助かります。1 週間ごとに演技が上達していくので、見学していて実にうれしく思います」とのこと。この教室は小学 2 年生で終わってしまうので、ちょっと寂しい気持ちですと残念そうに語っていました。



唯山紅葉さん（小 2）と、お母さん

自分で考え工夫することを覚えました

年中組で最初に迎えた発表会のときは緊張したという、あかりさん。今回は、「4 年目だからリラックスできた」とのこと。2 年目の崇君は、リレーが楽しかったそうです。

お母さんは、「いつも発表会を楽しみにしていますが、飽きずにできる継続性のある練習内容が素晴らしいですね。ときどき見学に行きますが、いつも楽しそうに練習しているので、参加



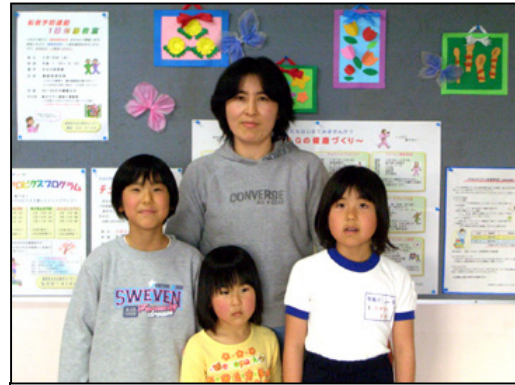
石井崇君（年長・左）、あかりさん（小 2・右）と、ご家族

して良かったなと思います。ゲーム性のある練習を積み重ねてきたためか、家のなかでも自分で考え工夫することを覚えてきました」と、我が子の成長ぶりに感心していました。

子どもにとっても、いましかできないことがたくさんあります

発表会ではずっと緊張していたという、沙帆さんですが、「ちゃんと跳び箱もできたし、最後のリレーは楽しくできました」と笑顔を見せてくれました。

お母さんは、「今年は初めての発表会だったので少し硬くなっていたようですが、終わってみれば来年も出たいと言ってくれました。昨年まで上の娘も参加させていただきましたが、たくさん友だちができて倒立もできるようになったと喜んでいます。ときどき練習を見学しますが、スタッフの励ましの言葉で、できないことができるようになっていく過程を目にしながら、ていねいな指導に感心しています。沙帆は、あまりスポーツが得意ではないのですが、寒いときでも短パンに素足で体育館を駆け回っている姿を見ると、うれしくなります。子どもにも、いましかできないことがあるはずで、それを叶えてくれる教室にはとても感謝しています」と、顔をほころばしていました。



高梨沙帆さん（小1・右）と、ご家族